



規模縮小時代の都市・地域経済問題 —高齢者の空間分布と都市内移動の研究—

こんな問題に取り組んでいます

経済が安定期に入って少子高齢化が進むにしたいが、経済の規模の縮小が現実のものになりつつあります。このような状況にあって、都市・地域をめぐる経済問題も変わってきています。本研究室では、そのような問題のいくつかを取り上げて、その原因や解決策を探ります。

こんなことがわかってきました

一例として、高齢者の空間的な分布と都市内の移動に付随する問題をとりあげ、高齢者の居住地決定がどのような要因でなされるかを調べ、それに関する問題点を明らかにしました。都市内移動についても、移動の手段や距離、頻度等について調査し、問題点を明らかにしました。

研究の成果はこんな分野に活かされます

研究によって、少子高齢化時代に望まれる街の空間構造がどのようなものかを知ることができます。この結果は、経済政策や都市計画に活かされます。

連絡先: 東京大学 空間情報科学研究センター
高橋孝明 <takaaki-t@csis.u-tokyo.ac.jp>

